

整備事例

農地や住宅地付近の海岸保全施設整備により 高潮・高波による被害を防止する



農林水産省 九州農政局
西国東海岸保全事業所



大分県豊後高田市



西国東地区
直轄海岸保全施設整備事業

■ 西国東地区の整備



整備前



整備後

高波等から背後地を防護するための堤防整備

事業費

250億円（うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約16億円）

事業の背景(地域の課題)

国営西国東干拓事業により建設された堤防等の海岸保全施設は、築造後約50年以上が経過しており、老朽化が進行し維持管理に支障をきたしております。また、常襲化する台風により、常に高潮・高波による農作物等の被災が発生しており、地域住民の方々は不安な生活を強いられている状況にあります。加えて、本地域は、南海トラフ及び周防灘断層帯地震の影響を受ける地域とされている中で、堤防等は必要な耐震性能を有しておらず、また地震による液状化被害も危惧されています。



堤防法面の陥没



越波の状況



湛水被害による農作物の根腐れ

事業の内容

- 事業工期：平成30年度～令和18年度(予定)
- 防護面積：1,100ha(農地800ha、農地以外300ha)
- 主要工事：堤体工 7.3km、排水樋門 3箇所、排水機場 3箇所

見込まれる効果

本事業は海岸保全施設の防災機能の強化を図ることにより、地震・高潮・波浪等の自然災害から背後地の農地や住宅など1,100haの地域を防護し、地域住民の生命・財産を守ることとなります。また、豊後高田市の白ねぎの作付面積は全国第3位、収穫量は全国第6位で全国有数の産地となっており、本事業の受益地の白ねぎの作付面積は県内シェアの6割以上を占めており、塩害、湛水被害による作物の品質・収穫量の低下を防止することで、こうした優良農地が維持されます。本事業の海岸保全施設の改修による、農作物、家屋、公共建物等の年間被害軽減額は約92億円が見込まれます。



白ねぎの作付け状況

(1)

1

人命・財産の被害最小化

激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2)

交通・ライフラインの維持

2

インフラの老朽化対策

(1)

3

施策のデジタル化

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2)

災害関連情報の高度化